

頸椎後方固定術の手技は時代とともに変遷し、またその矯正力、安全性においても格段の進歩を遂げている。術前における血管走行と頸椎の解剖学的イメージ構築がCTやMRIによって進歩し、また術中脊髄モニタリングやナビゲーション、特にO-armを使用したナビゲーションによって安全性も確保されてきている。

頸椎後方固定といえば、日本で初めて頸椎椎弓根スクリューを刺入し、頸椎矯正固定を行った北海道大学の鎧 邦芳先生を語らずには始まらない。確か1995年ミネソタで行われたNASSで鎧先生が初めて頸椎椎弓根スクリューで頸椎後弯症を矯正固定した症例を提示したとき、聴衆はざわめき、そして座長が「CRAZY」と言ったことをよく覚えている。

今ではそのスクリューは多くのspine surgeonに知られ、そして強力な矯正固定を可能とする手術手技として認知されている。

高安先生が企画された今回の頸椎後方固定術の変遷は、時代とともに進歩してきたインストゥルメント、画像診断、脊髄機能モニタリング、そして何よりもわれわれの解剖学的知識と手術技術の進歩を総まとめされており、われわれ実戦部隊に立つ脊椎脊髄外科医にとって大変興味をそそり、また知識の整理となる素晴らしい企画と思う。

それぞれの手技における基本的手技から術中のピットフォール、また起こり得る合併症、その予防法に至るまで詳細に紹介されており、頸椎後方固定はこの特集があれば容易にできてしまう錯覚にまで陥りそうである。

そんな素晴らしい内容となっており、若手脊椎外科医からベテランまで興味深く読めるものと確信している。（松山幸弘）

脊椎脊髄ジャーナル

編集顧問

長島親男 小野啓郎 萬年 徹
高橋 昭 金田清志 小山素磨
小柳知彦 田代邦雄 国分正一
服部孝道

編集委員

徳橋泰明（編集委員長）
金 彪（副編集委員長）
青木茂樹 安藤哲朗 園生雅弘
高橋敏行 高安正和 田口敏彦
谷 論 中村雅也 根尾昌志
飛驒一利 松山幸弘 山崎正志

Vol. 30 No. 1

（2017年1月25日発行）

毎月1回25日発行

1部定価（本体2,300円＋税）

（配送料別）

年ごめ予約購読料30,700円＋税

送料弊社負担

発行／株式会社 三輪書店
代表者 青山 智

〒113-0033

東京都文京区本郷6-17-9

本郷綱ビル

TEL 03-3816-7796

FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

（担当：山岸）

印刷所／三報社印刷株式会社

TEL 03-3637-0005

広告申込所／

（株）文栄社

TEL 03-3814-8541

（株）ハイブリッジエージェンシー

TEL 03-3814-0089

本誌の内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, TOKYO © 2017,
Printed in Japan

JCOPY 〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969、FAX 03-3513-6979、e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。